

2010年1月31日

三井物産環境基金交流会に参加して

1月28、29日、三井物産環境基金2009年助成団体交流会が開催され、当協会より今泉代表理事、松下理事、尾園理事が参加しました。初日は8つの助成団体の発表・意見交換が行われました。その中でも岩手県環境エネルギー教育ネットワークの学童への自然エネルギー教育への取り組みは、とても興味深く大変参考になりました。懇親会では岩手大学の高木淳教授と密着した懇談や貴重な資料を戴きました。また2日目は(株)ファンドレックス代表取締役鵜尾雅隆氏の「ファンドレイジングと支援者拡大」の講演がおこなわれました。如何にしてNPOが資金を集めるかという点について、国内外の例を色々と紹介されました。これは当協会にも大変参考となりました。これら内容は次回(2月3日)の運営委員会で紹介したいと思います。

コーヒー抽出残渣を pH 調整剤に用いた廃グリセリンのメタン発酵処理

宮代町では、事業所や家庭から廃食油を回収してBDF(バイオディーゼル燃料)を製造し販売する事業を行っている。しかし、製造時の副産物として発生するグリセリン(以下、廃グリセリンと呼ぶ)は、ほとんど有効利用されずにお金を払って廃棄処理されている。

BDF 先進国のドイツでは、メタン発酵処理施設が多数あるため、それらを使って廃グリセリンを有効利用している。そこで、日本工業大学佐藤研究室でも同様のメタン発酵処理により廃グリセリンのバイオガス化を行ってみたが、廃グリセリンは、pH 値が高く、メタン発酵原料として多量に投入すると、発酵に最適な pH 値(6.8~7.5:弱酸性)を超えてしまい発酵障害を起こすことがわかった。こうした問題を解決する目的で、本研究では、pH の低いコーヒー抽出残渣を高 pH 廃グリセリンとある比率で混合投入して健全なメタン発酵を持続させることが可能となった。

・ ……近々研究成果のコーナをホームページに設ける予定ですのでご期待下さい。

ポイント CO2 地域ネットワーク

三井物産環境基金助成第三年度中間報告書を1月29日に無事事務局へ提出することが出来ました。皆様のご協力に感謝いたします。詳細は「ポイント CO2 最新情報」に掲載されます。

2010年1月17日

REPA 賢人達の講演題目(講演会・出前講習会等)出版について

当協会では役員、会員が REPA の主催する会合での講演、あるいは依頼を受けて講演等を積極的におこなっております。また関連した環境関連書籍の出版も手掛けております。講

演は再生可能エネルギーに限定されず幅広く環境を捉えて依頼元の趣旨に応じた内容で実施しております。

REPA の財産の一つに有識者が多数いる(賢人達)ということです。さらに中国、環境先進国であるドイツにも理事を有しており最新環境関連情報が入手できています。きっと皆さまのご要望に応える講演が出来ると思います。詳細のお問い合わせは support@repa-npo.com へお願い致します。これまでの主要講演題目等については”REPA 賢人達の講演”をご参照ください。

2010年1月9日

新年に当たり、当協会今泉代表理事の初句、ならびにエッセイ「再生可能エネルギー元年」を掲載させていただきます。本年もよろしくお願い致します。

穏やかな初日を受けてソーラ屋根……亮平



再生可能エネルギー元年

2010 年は日本の再生可能エネルギー史上画期的な年になりそうです。読売新聞に拠れば、「政府は今月から始まる通常国会で提出する、地球温暖化対策基本法案の中で、国内エネルギーに占める太陽光発電など再生可能エネルギーの割合の目標値を「2020 年までに 20%以上」と明記する方向で調整している」そうです。

2010 年 1 月 6 日 REPA 情報交換会が開催されました。当日の情報交換会は新年会を兼ねて実施いたしました。参加者一人一人がビジネスや身の回りで抱えているテーマあるいは、再生可能エネルギーをめぐる情勢に対する見解を披露する形で挨拶を交わしました。再生可能エネルギー推進に関する法律の施行が予定されている今年度は、日本での「再生可能エネルギー元年」に当たるとの指摘や、民主党政権には、25%を何が何でも達成する意気込みを示し、技術のイノベーションを期待したいなどの所見が披露されました。いずれにしても、当協会の活動をより活発化させていく諸条件は整備されつつあると思われる。REPAブランドをさらに強化し、多くの方々の知見と活動への参加により、再生可能エネルギーの普及を図っていくという、共通認識を確認できたのではないかと思います。会員の方々には事務局よりレポートが発送されております。

第4回運営委員会は2月3日(水)18:30から麹町REPA事務所で開催されます。

2010年1月1日

新年明けましておめでとうございます。



本年も皆様にとって良いお年であり
ますよう祈念いたしております。当協
会も会員、賛助会員、補助を頂いて
おります東京都、三井物産の支援・
協力により、さらに発展させて行きた
いと思います。昨年のCOP15では
二酸化炭素削減の具体的な数値目
標の設定には至りませんでした。再
生可能エネルギーに対する期待、
施策は多く論じられ、方向性・具体策
は見えて来ております。当協会も、
政府・自治体・民間企業では行き届

かない分野で活動を進めて行きます。これからはまさに、企業なき環境は労多くして功な
し！環境なき企業は永遠の道おぼつかなし！です。

REPA通信 22号が発行されました。

「三井物産環境基金 助成案件便覧 2009」

当協会の「ポイントCO2地域ネットワーク」活動は、三井物産環境基金の助成を受けてい
ますが、この度、「三井物産環境基金助成案件便覧 2009」が発行され P6に本活動ならび
に REPA が紹介されています。この便覧は三井物産環境基金の活動を広くご理解頂くこと
を目的に、三井物産環境基金が現在助成を行っている 2007 年度から 2009 年度第 1 回活
動助成までの助成案件 152 件について、助成案件の概要および助成対象団体・研究者の
プロフィールをまとめたものです。

<http://www.mitsui.co.jp/csr/fund/binran/pdf/kikinbinran2009.pdf>

三井物産は 2005 年 7 月 1 日付で、『三井物産株式会社環境基金』を設立されています。
この基金の設立は、地球環境問題の解決に向けた社内外のさまざまな活動を支援・促進
することにより、三井物産の経営理念を始めとする CSR に関わるガイドラインの実現に資
することを目的としています。

<http://www.mitsui.co.jp/csr/fund/index.html>

平成 21 年度のキッズ ISO の特別賞の受賞

平成 21 年度のキッズ ISO の特別賞が決まりました。今回も当協会と連携している埼玉県宮
代町の小中学生がたくさん受賞しています。

平成 21 年 12 月 17 日に「特別賞受賞者選考委員会」が開催され、「第 9 回国際認定証授

与式」での特別

賞受賞者が決定しました。宮代町の生徒さん達は、国連大学学長賞、環境大臣賞、埼玉県知事賞、省エ

ネルギーセンター会長賞、電気事業連合会賞を受けています。おめでとうございます。
なお、「宮代キッズエコサミット2010」は、2010年2月19日(金)に宮代町で開催予定です。